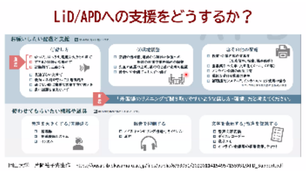
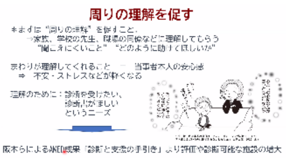
<table>
<tr><td colspan="2">新潟県特別支援教育研究会
言語・難聴部</td></tr>
<tr><td>1　講師紹介
 </td><td>言語・難聴部　副部長　大瀬 孝志 様から、今回の講師をしていただく、筑波大学（人間系）教授　小渕　千絵 様に関する紹介をしていただきました。</td></tr>
<tr><td>2　講演会



</td><td>講師の小渕様より、「LiD（聞き取り困難症）/APD（聴覚情報処理障がい）の理解と支援について」という演題で講演をしていただきました。
小渕様からは、聞こえにくさはなぜなのか、LiD/APD 症状を引き起こす背景要因や発達との関係を丁寧にお話ししていただきました。その上で支援については、次のことが大切であると教えていただきました。
①話し方
声量、性質、話すスピードが良く、話される環境が大事であること。
②環境調整
聞き取りの環境を整えるには、周りの音の制御、気になる物、動きなど視覚的な刺激の制御が有効であること。
③その他の配慮
心理的な環境の整備、「周りが理解してくれること＝当事者本人の安心感により、不安・ストレスなどが軽くなる」として、周りの理解を促すこと、家族、教師、職場の同僚などに聞こえきくさや聞こえづらさをどのように助けてほしいか理解してもらうこと。
また、低年齢であればあるほど保護者や教師の気付きや子どもの状態の確認、必要な支援の検討が大切であること、学校生活が楽になるきっかけとなることをお話ししていただきました。「子どもは言語発達過程であるため、言語力を高めることを第一に考える」「言語力が高まると、推測力が向上し、少しの情報でも単語をイメージしやすくなる」「大人との会話の中で理解を確認しながら聞くこと、相手の話に合わせて受け答えする」などを学ぶことで、聞く自信につながっていくと教えていただきました。</td></tr>
<tr><td>3　質疑</td><td>講演後、質疑の時間があり、出席者から質問が出て、分かりやすく小渕様から解説していただきました。</td></tr>
<tr><td>4　終わりの言葉</td><td>県言難部長　江口　滋 様から講師への感謝の言葉を述べていただき、会を終了しました。
今回の研修会に多くの方々からご参加いただき、ありがとうございました。</td></tr>
</table>